

会議録（要点筆記）

会議の名称	令和5年度第3回新城市男女共同参画審議会
開催日時	令和6年1月23日（火）13:30～14:40
開催場所	新城市役所 4-1会議室
委員出席者	鄭会長、原田副会長、中谷委員、菅沼委員、鈴木委員、古田委員、中村委員、加藤委員、古市委員
事務局	吉林部長、牧野課長、森谷係長、青木主事、松谷主事
会議の次第	<p>令和5年度第3回新城市男女共同参画審議会</p> <p>1 開会 (1) 会長あいさつ</p> <p>2 協議事項 (1) 答申について 新城市パートナープランの基本的な計画の実施状況の点検及び評価に関すること</p> <p>3 その他（報告事項） (1) パートナープラン評価表について（様式・評価方法） (2) ファミリーシップ制度の導入について</p>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・新城市の男女共同参画施策について（答申）（案） ・パートナープラン評価表について（様式・評価方法） ・ファミリーシップ制度の導入について
議事録の作成方法	要点筆記
会議録署名人	古市委員、中村委員

1 開会

鄭会長のあいさつに続き、市民自治推進課長から会議の流れと協議事項の説明があった。

2 協議事項

会 長	初めに、会議録署名委員を名簿番号7番の古市委員、8番の中村委員に願います。 協議事項について事務局から説明をお願いします。
事 務 局	(答申案についての説明)
会 長	新城市パートナープランの基本的な計画の実施状況の点検及び評価に関することについて、答申案について意見はあるか。
副 会 長	基本目標2の部分。学校、保育、医療、福祉、人を扱っているところに対して、道理に合わないクレームがある。それがカスタマー・ハラスメント、最近かなり多いと思うので、このことを追加した方がいいのではないか。また、能登半島で起きた地震で、孤立してしまったという人もいる。新城市は高齢者が50%を超えている。男女共同参画の視点からでも介護福祉避難所が必要だと思う。これを基本目標2または基本目標4のどちらかに盛り込んだ方がいい。
会 長	1点目の指摘に対しては、新聞記事にも取り上げられているので、取り入れてほしい。 2点目は、能登半島の地震に対しても男女共同参画の面から解決できることはあると思う。また取り入れることでより良いものになるのではないか。他に意見はあるか。
委 員	基本目標1の部分。「マタニティ・ハラスメント」等、同じ文言が続いているので、2段落目の部分は省いてはいいのではないか。また「市役所内で…」とあるが、ここは「積極的に市職員…」という言い方に変えた方がいいのではないか。 基本目標2の部分。担い手不足が男女共同参画で解消されるということに違和感を感じる。ずれていると思う。
会 長	基本目標1については言い方を変えた方がいい。 基本目標2については、皆さんの意見を聞きたい。
副 会 長	文章表現だと思う。一時的には担い手不足は解消される。継続は難しいと思う。表現するのは難しい。

会 長	「解消」より「改善」、「継続する」より「課題を解決するため」という意味だと思う。文章表現を変えた方がいい。他の項目についてもいいので、他に意見はあるか。
委 員	今は計画の前期の中盤。一步步改善していく段階。イクボス宣言を取りあげるとはいい。
委 員	全体的には修正はない。改善していくための仕組みづくりが大変。「講習会」「研修」「情報提供」とあるが、これだけでは改善できないと思う。もっと具体的なものがほしい。
会 長	きれいな言葉でまとめると、具体性を持たせるのは難しい。目標に何%と具体的な数字を入れるのも一つの方法。例えば基本目標2の行政区活動、地域活動の部分に女性委員を何割に増やす等。ただ数字を入れることで窮屈になってしまうこともある。数字を入れるのではなく、「多様性を考える取り組みをやっている」ということを書いてもいいかもしれない。
委 員	基本目標2について、行政区活動や地域活動の高齢化の懸念されている。年齢を下げていくこと必要だと思う。
会 長	新城市の中でも行政区によって高齢化率は異なっている。継続していくのが明らかに困難な地域もあれば、バトンタッチできる地域もある。
副 会 長	退職年齢が上がっていくと、職を持ちながら自治的な活動をやることになる。60まで働いて、退職してから自治活動を使用という人もいた。それに開催時間・場所を工夫しないと参加していけない。条件を変えていくことが必要。
会 長	従来通りにはいかない。定年の年齢が70歳になっているところもある。地域活動に参加が難しい。地域活動と仕事が両立できる環境になるといい。
委 員	能登半島の地震があった。災害に対して考えていく必要があると感じた。男女共同参画の面で、取り入れられるといいと思う。
会 長	新城市も孤立する可能性がある。高齢者の割合、子育て中の割合、一人暮らしの割合、男女の比率等を考えて備蓄していかないといけないかもしれない。

委員	災害があった時に孤立してしまうこともある。6月の豪雨の時もそうだった。基本目標4に孤立のことに触れている。「セーフティネットの構築が…事業所のニーズ・課題」となっているが、ここでいう事業者とは誰なのか。
事務局	高齢者であれば、介護施設や社会福祉協議会等と考えている。
委員	障がい福祉でいうと、相談員。日頃から生活についての相談にのっている。災害時は生活する場所だと難しい人もいる。認知症の人は逃げることはできない。防災頭巾をかぶることもできない子もいる。偏食の子もいるため、非常食が食べられない子もいるかもしれない。そういうこともあるということを考えていかないといけない。
会長	事業所だけではなく、地域の団体の協力もあると思うので「地域の団体」も入れたほうがいい。 災害時のことを考えて、男女共同参画の面で取り組んでいく必要がある。
委員	基本目標3について、「イクボス宣言」の補足があるといい。また「職員に向けた研修…」となっているが市職員だけなのか。
事務局	イクボス宣言は企業が、社員が業務と子育てを両立できる環境つくるということを宣言すること。補足を入れる。また「職員」は市職員では狭いので企業なども入れる。
委員	基本目標2について、行政区、地域活動は女性が入ってやっていくことは大事だが、「協働」でやらないといけないと言い切るのはいくはない。どちらがやるという言い方はやめた方がいいのではないかと。
会長	地域によって差が出る。男女の参画率を半々にしないとけないということをしていっているわけではない。働き手として、今まで埋もれていた人を発掘しないと継続していけないということは今までも議論してきた。「地域ごとに違う」ということを理解した上で、担い手不足を解決するために、女性が参画してくれることを考えていくことが重要な課題となっている。
副会長	基本目標4は文章を長くすれば、各機関、各事業所について細かく書くことができると思うが、市職員がすぐに「この事業所」と回答できるならこのままでいいと思う。

会 長	<p>短い文章でまとめるのは難しい。誰が読んでもわかるものだといい。他に意見はあるか。</p> <p>ないので協議事項は終わりとする。今日出た意見を含めた内容の答申書に修正してほしい。</p>
-----	--

3 その他

会 長	その他について事務局から説明をお願いします。
事 務 局	パートナープラン評価表について（評価方法）についての説明をした。
委 員	例えばこの評価方法に当てはめていくと、今年度の評価は変わるのか。
事 務 局	変わる。講演会を2回やったので今は「A」となっているが、来年度の課題として「男性が参加してもらうための工夫が必要」とあげられているためこの場合は「B」の評価となる。
会 長	評価を厳しくすることによって改善点を見つけやすくなる。事務局の提案で進めていってほしい。
事 務 局	パートナープラン評価表について（様式）についての説明をした。
会 長	見る側がわかりやすいのがいい。このまま進めていってほしい。
事 務 局	ファミリーシップ制度の導入についての説明をした。
委 員	当事者のメリットが書いてあるが、デメリットはあるのか。
事 務 局	愛知県の制度がはじまると、県内のサービスを使う事ができるようになる。デメリットはないと思っている。
事 務 局	<p>答申までの流れについて事務局から説明した。</p> <p>答申は2月28日（水）の9時30分から政策会議室にて行う。</p> <p>また、自治基本条例10周年記念イベント等について説明した。</p> <p>今年度の審議会はこれが最後となるが、任期は2年となっているため引き続きお願いしたい。1年間ありがとうございました。</p>

会 長	これで、本日の男女共同参画審議会を終了する。
-----	------------------------

会議録署名人

会議録署名人

会 長